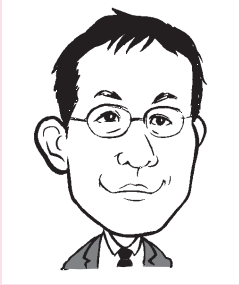


○新しく住む人も古くから住む人もともにふるさとと呼べる「マイ・ホームタウン越谷」を目指して！

越谷市議会議員

平成 30 年 1 月発行 No.15



大野やすし市政報告

〒343-0806 越谷市宮本町1-94-3 電話/FAX 048-940-0115

携帯 080-3300-8100 アドレス y.ohno2335@themis.ocn.ne.jp



HPあります。検索エンジンで y-ohno.jp と入力してください。FB、ツイッターもよろしくお願ひします。



富士山とリニア見学館

平成 30 年、戌（いぬ）年、あけましておめでとうございます。昨年の衆議院選挙、市長選挙では、大変お世話になりました。特に市長選挙においては、26.77%という低投票率の中で、越谷市政の方向を決める選択が行われました。今年、越谷市は市制 60 周年を迎え、市内の各種イベントも一層盛り上がることになるでしょう。私は、今後、人口減少に負けない越谷市づくりのため、未来への投資をしっかりと行うことが一層重要になると考えています。そのような観点から、12月定例会では、①JR 武蔵野線市内地域の高架化と側道整備の取組について、②小中学校トイレ洋式化の整備促進について、一般質問しました。その概要について以下に報告します。市民のみなさんが感じる、市政についてのご意見・ご要望、遠慮なく、私にお聞かせください。

1 JR 武蔵野線市内地域の高架化と側道整備の取組（12月定例会一般質問概要）



JR 武蔵野線

◇武蔵野線を支える基礎部分は、コンクリートの橋脚で高架化された区間と盛土で支えられた区間がありますが、盛土された区間については、地域を分断するだけでなく、豪雨時には水没し通行止めになり、水路を妨げ地域が水没する要因のひとつと懸念されています。また、側道が未整備のため、電車事故や沿線火災への対応が危惧されています。そのため、出羽地区ではかねてより、市を通じて鉄道の高架化について要望をしています。

◇市はこれまで、「沿線の県市と JR 東日本で組織する「武蔵野線旅客輸送改善協議会」を通じて要望」し、JR からは「鉄道を高架化するためには周辺地域等の基盤整備も併せて行う必要があることや、整備に伴う事業費が膨大になることから、現在のところ、高架化する計画はない」と回答されています。そういったことも踏まえ、私は「(仮称) 出羽公園駅の設置と周辺地域の区画整理を検討すべき」と過去 2 年続けて代表質問で市長に提案しているところです。今回の市長選で改めて高橋市長の公約に、JR 武蔵野線の高架化が取り上げられたことから、これまでと何が変わるのか市長に説明を求めました。

◇市長としては、地域の要望を踏まえ、地区分断の影響や地盤沈下の影響、毎年発生する台風等の影響に対する防災機能向上の観点等から、地域の声を受け止めて、強く要望していくとのことでした。しかし、数百億円は係る事業費の調達や JR が求める周辺地域の整備の可能性については言及がなく、気持ちが行先する答弁でした。(裏面に続く)

◇私は本件が進捗するかどうかは JR が高架事業を行う投資に見合う収益予想が立てられるかがポイントで、越谷市が周辺地域の整備を検討することが重要だと考えます。引き続き、定期的に、JR との交渉状況を確認するとともに、(仮称) 出羽公園駅の設置と周辺地域の整備について、市側の対応を促していきたいと考えます。

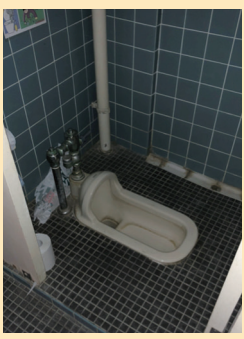
2 小中学校トイレ洋式化の整備促進 (12月定例会一般質問概要)



越ヶ谷小学校



宮本小学校



小学校和式トイレ

◇小中学校トイレの洋式化については、現行整備計画では、平成 32 年度までに 50%という整備目標で、平成 29 年 11 月末現在で、2,922 基中 857 基が整備済で、整備率 29.33%です。教育委員会の最終的な整備目標は 7 割なので、単純に和式便器を洋式便器に交換していくと、 $2,922 \text{ 基} \times 70\% - 857 \text{ 基} = 1,188 \text{ 基}$ ≒ 約 1,200 基の整備が必要です。仮に 1 基当たり 50 万円の費用だとすると、 $1,200 \text{ 基} \times 50 \text{ 万円} = 6 \text{ 億円}$ の予算が必要です。また、整備目標の 50%だと同様に計算して約 600 基で 3 億円の予算が必要です。しかし、今年度の予算は 2,000 万円。これでは整備目標達成に 15 年、最終的な目標達成に 30 年かかります。また、文部科学省が用意した国庫補助金について、市は活用を見送ったとも聞いています。一方、市長の選挙公約では「そこで、まず子供たちが 1 日の大半を過ごす場である学校において、小中学校トイレの洋式化の整備を促進してまいります。」とあり、現状の予算や取組では到底、公約実現困難であるところから、今後は国庫補助金を活用し、整備促進を図ることが妥当であるとして、市長及び教育長の取組について問いました。

◇来年度は、越谷市単独の予算でまず、優先的に小学校 1 年生の使用するトイレの洋式化を図り、その後、次年度以降、校舎の長寿命化も含めて国庫補助金の積極的な活用も視野に入れて取り組みたいとのことでした。

◇とにかく、来年平成 30 年度予算が今年度予算 2000 万円をどの位上回るのか、31 年度以降には国庫補助をどのように使うのか、越谷市予算に、大いに注目です。

大野やすしの3つの主張

「マイ・ホームタウン越谷」の実現に向けて

- 誇りを持てるまち越谷を築く
- しぶとい日本人の再生を目指す
- 簡素で効率的な行政体制を創りあげる

経験から取組む5施策

- 1 子ども・教育施策の推進
- 2 まちづくり・経済産業施策の展開
- 3 危機管理施策の強化
- 4 観光を通じた伝統・文化の活性化
- 5 行財政改革の徹底

経歴

S38 宮本町生まれ、越ヶ谷小、中央中、越ヶ谷高、明治大学政経学部卒
S62 ~ H23 東京都職員 (建設、行革、防災等)、元越ヶ谷高校同窓会副会長
H23.4 越谷市議初当選
H27.4 越谷市議当選 (2 回目)
家族
父、母、妻、3 男 1 女の 8 人家族